

“平和のつどい” “パネル展示会” 開催のお知らせ

主催 開成町戦没者遺族会、 後援 開成町
戦争にまつわる苦渋の足跡を振り返る

開成町戦没者遺族会では、町民の皆様を始めとして少しでも多くの方々に平和の大切さを知っていただく事業を進めています。

今回は足柄地区の戦争にまつわる貴重な歴史的事実を披露させていただき、ウクライナ侵攻を始めとした最近の世界各地で勃発する戦闘が与える不幸な日々について、身近な事例をもとに考え直す機会の一助となればと考えます。

どなたでもご入場できます。皆様のお越しをお待ちしております。

- 1 日時 8月15日(火) 13:30 ~ 15:00
2 場所 開成町町民センター 3階 大会議室
入場料 無料

3 内容

-1 異人館はショコラ色 (朗読:「劇団ぼぼ」)

太平洋戦争が始まった昭和16年、横浜に在住の数多くの外国人が敵国人として捕まり、南足柄市の高台(内山)の抑留所に入れられて厳しい生活を強いられた。



内山の抑留所外観

-2 シディングハム・デュアの抑留日記 (朗読:「劇団ぼぼ」)

当時19才の医学生デュア(英国人)は突然拘束と我慢の抑留生活の中、その日の出来事や思いを日記に綴っていた。

※平和のつどい当日のご当人のご都合次第ですが原作者のお子様をご紹介します予定です



-3 内山の旧海軍技術研究所と「神風になりそこなった男たち」

(解説・朗読: 笹田 章さん、久保田 和男さん)

昭和19年頃から、日本は米軍のB-29爆撃機の空襲を受けるようになり、そんな時期に、内山のある所に突然、海軍の研究所が作られた。



内山の旧海軍技術研究所

《パネル展示会》

- ・日時 令和5年8月14日(月) ~ 8月16日(水) 10時~16時
- ・会場 開成町役場入口ホール展示場
- ・展示物 平和のつどいに関する展示、及び戦後78年関係パネル展示 等